

日私看大協第 32 号

2024 年 8 月 15 日

自民党看護問題小委員会

委員長 田村 憲久 様

一般社団法人日本私立看護系大学協会

会 長 原 玲 子



要 望 書

日頃より看護学教育に多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人日本私立看護系大学協会は、看護の高等教育機関を持つ私立大学が、我が国の看護及び看護学教育・研究の進歩発展に貢献することを目的として設立されました。現在、大学 200 校（課程数）、短期大学 9 校（課程数）が会員であり、看護系大学の約 7 割が所属しております。会員校は、看護人材の育成だけでなく、臨床現場における看護の質向上に向けた支援や地域における住民の健康支援を行う役割を担っており、災害発生時には、看護系大学として住民の健康危機に対応すべく尽力しております。新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）ピーク時には、対応する地域保健所等の仕事が加重となり、看護系大学に支援が求められ、多くの大学教員が役割の一部を担っております。現在、新型コロナウイルス感染症は 2 類から 5 類へ変更となりましたが、流行が第 11 波に突入といわれ、臨床現場は予断を許さない状況にあります。

看護学教育にとって臨地実習は重要な学びの場ですが、コロナ禍では、十分な学びを得られず、卒業した新人看護師の離職問題が浮上してきました。日本看護協会が行った 2022 年の病院看護実態調査では新人看護職の離職率は 10.3%で過去最高値であり、2023 年度の調査においても 10.2%と高止まりの傾向が続いています。回答した施設の 41.5%が、新型コロナウイルス感染症が「影響している」と回答し、昨年度よりも 3.5 ポイント増え、新型コロナウイルス感染症の蔓延が一定程度影響したことが伺えます。

看護人材の育成には教育機関と実習現場の細やかな連携が必要ですが、臨地における教育体制は、臨床におけるその時々状況による影響を受けるため、実習指導要員が固定されず、教育の質を確保するための体制整備は進まない状況にあります。コロナ流行による影響に限らず、学生が、臨地において、リアルな看護を学ぶ機会を得るための早急な教育体制の整備を必要としています。

一方、看護教育機関においては、新人看護職が臨床現場に適応できる教育の在り方を検討することが必要です。各会員校は、科学技術イノベーション計画に基づく Society5.0 の実現を意識し、新たな時代に向けて ICT を活用した看護学教育を推進する努力をしております。

ますが、実習施設を含めたICT設備や活用体制は十分とは言えず、ICTを専門とする職員の導入を含めた体制整備への支援を必要としています。さらに、リアル体験に近づけるためにAI等を用いたシミュレーション教育を導入する必要がありますがそれには、教員のトレーニングを始めとした教育支援体制を整える必要があり、十分に導入されていない状況です。2021年ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業に採択された一部の大学ではシミュレーション機器が購入でき、シミュレーション教育を進めることができましたが、まだまだ多くの大学でシミュレーション機器を必要としています。

本協会では、コロナ禍で制限された臨地実習を補足するためのシミュレーション教育教材を開発し、DVDに収録して配布いたしました。今後も、看護学教育の発展に向けて、看護系大学が使用可能な教材作成やシミュレーション教育等を促進するプラットフォームが必要であり、構築に向けた調査・研究が必要と考えます。

本年、1月1日に能登半島地震があり、まだまだ復興がみえない状況にあります。また、大雨による被害は至るところで勃発し、被害を受けた地域の健康支援に対応している会員校があります。今後、医療機関だけでなく、大学の役割として、地域において「健康危機管理ができる看護人材の育成」のための看護学教育の改革の必要性が増大しています。

コロナの流行も、先行きが定かでなく、新興感染症、地球温暖化による自然災害等、諸々の課題に対し、私立看護系大学に求められる役割は増えてきています。本協会は看護学教育の質の維持向上や地域の健康支援に奮闘している会員校を支援すると共に、新たな時代に向けた看護学教育を推進してまいります。

看護学教育の質の維持・向上のために以下の予算措置を要望いたします。

1. 看護教員の養成と雇用および臨地実習施設における教育要員の配置
2. 看護学教育機関ならびに実習施設を含めたICTの活用体制の整備
3. 看護学教育のためのシミュレーション機器等の充実と教育体制の整備
4. 看護系大学が使用可能な教材作成や教育支援のためのプラットフォームの構築と構築に向けた調査・研究
5. 地域における「健康危機管理ができる看護人材の育成」のための看護学教育の改革